

がん化学療法レジメン登録書

(様式2) 1枚目

登録番号: 10-089

がん種/レジメン名				実施区分	適応疾患分類	抗癌剤適応分類	
①乳癌の術前・術後補助化学療法 ②治癒切除不能な進行・再発乳癌 ドセタキセル療法				点滴静注	日常診療 (治療)	①術前・術後補助化学療法	
						②進行・再発・転移癌	
1クール of 投与期間				21 日/クール			
備考: 術前術後補助では通常 4クール							
Day	投与順	薬品名 (成分名)	投与量	単位	溶解液・液量	投与時間	投与ルート
1	1	デキサート	6.6	mg	生理食塩液 50mL	15min	Div.
	2	ドセタキセル	75	mg/m ²	生理食塩液 250mL	60min	Div.
	3				生理食塩液 50mL	5min	Div.
0 夕～3 朝		デカドロン錠*	8	mg		分 2/朝夕食後	p.o
				※ 浮腫予防 前日夕より 3日間服用			

臨床症状の観察を十分に行った上で、使用が適切と判断される患者についてのみ投与すること。
また、投与開始基準や投与基準を満たさない場合はリスクとベネフィットを考慮した上で投与の可否を判断すること。

【投与開始基準】

※ドセタキセル添付文書
レジメン管理マニュアル第3版(ドセタキセル/乳がん)より引用

項目	基準値及び症状
PS	0～2
白血球	≥ 4000/μL
好中球	≥ 2000/μL
血小板	≥ 100000/μL
T-Bil	< ULN
AST、ALT	≤ ULN×1.5
ALP	≤ ULN×2.5
Scr	< ULN
禁忌	
間質性肺炎、肺線維症の合併	
ポリソルベート 80 含有製剤に対し重篤な過敏症の既往歴	
妊娠または妊娠している可能性のある患者	
慎重投与	
間質性肺炎又は肺線維症	
浮腫	

【特に注意すべき副作用と対策】

白血球減少、好中球減少…症状に応じ、内服もしくは点滴静注にて抗生剤の投与、G-CSF 製剤の使用を考慮
(FN 診療ガイドライン、G-CSF 製剤使用についてのガイドラインに準じ対応)
ヘモグロビン減少…症状に応じ、輸血を考慮(血液製剤の使用指針に準じ対応)
血小板減少…症状に応じ、輸血を考慮(血小板輸血に関してのガイドラインに準じ対応)
消化器障害…悪心嘔吐には 5HT₃ 受容体拮抗薬の処方追加検討。下痢には高用量ロペラミド療法検討
末梢神経障害…症状に応じ、減量や休薬を検討

※当院作成の【外来化学療法施行患者における緊急時対応マニュアル】を参照

【投与基準】 ※レジメン管理マニュアル第3版(ドセタキセル/乳がん)より引用

項目	基準値
好中球	≥ 2000/μL
AST、ALT	≤ ULN×1.5
ALP	≤ ULN×2.5
T-Bil	≤ ULN

【投与量の減量基準】 ※がん化学療法レジメンハンドブック第6版より改変

項目	基準値	ドセタキセル
発熱性好中球減少症	≥ Grade3	60mg/m ²

※G-CSF 製剤投与による2次予防も考慮する。